※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０１３

令和５年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術(音楽)	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	音楽Ⅰ　改訂版　Tutti＋（教育出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「音楽」は「音」で何かを表現するものです。「音」はいろいろなものを伝えることができる、大きなエネルギーです。授業の内容は自分の「音楽を表現する」ことと、誰かの「音楽を聴きとる」こと、さらに、誰かと一緒に「チームの音楽を表現」すること、となります。良いチームをつくることが良い表現を生みます。コミュニケーションを大切にして、これまで経験したことのないことにも積極的にチャレンジしましょう。
・学習到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価します。慣れないことでもまずは一緒にやってみること、授業に参加することが大切です。
・「音楽」が皆さんの生涯を通して心の支えのひとつとなることを願っています。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに，感性を高め，創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし，音楽文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	音楽を形作っている要素とそれらの働きを知覚し、音楽の演奏、創作、鑑賞に必要な基礎的な知識と技能を身につけている。	音楽を生み出す社会的背景、楽曲の構成、意図の解釈等、音楽について深く思考し、どのように自らの音楽を形作るか判断し、それが十分に伝わるように表現している。	音楽や音楽文化に関心を持ち、音楽に対する理解を深め、自ら積極的に演奏や鑑賞等の学習に取り組み、その結果を客観的に振り返ることで更なる成長に繋げている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	クラスの歌声を響かせよう	【歌唱】 ・校歌 ・優しいあの子	a：楽曲の構成や背景や歌詞について学習し、表現したいことを伝えるための歌唱についての技能を身につけている。 b：音楽の要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質について思考し、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか判断し、意図が伝わるように表現している。 c：歌う喜びを味わい、楽曲に対してイメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取
	リズムアンサンブルを楽しもう	【器楽】 ・ボイス・アンサンブル ・クラッピング・アンサンブル	a：リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b：リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて意図が伝わるように表現している。 c：アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

二学期	お勧めの音楽を紹介しよう！	【鑑賞】 各自で選曲した楽曲	a：楽曲の構成や背景や歌詞について学習し、それらの価値を考え音楽に対する理解を深め、その良さや美しさを創造的に味わうことができる。 b：鑑賞した楽曲構成や背景や歌詞等について深く思考し、自らの感覚を言葉に置き換えて、伝わるように表現することができている。 c：推薦された楽曲に興味・関心をもって主体的に鑑賞する。	観察 レポート 発表 ワークシート	観察 レポート 発表 ワークシート	観察 レポート 発表 ワークシート
	箏に挑戦！	【器楽･鑑賞】 箏曲	a：箏の音色や奏法の特徴を生かした演奏技能を身につけ、創造的に表している。 b：音色やリズムなど音楽を形づくっている要素やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気などについて深く思考し、どのように演奏するか自ら判断し、意図が伝わるように表現している。 c：箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート
三学期	アンサンブルに挑戦	【器楽】 ギターアンサンブル 茶色の小瓶 他	a：アンサンブルをするために必要なギターの基礎的な知識と演奏技能を身につけている。 b：旋律と和音の特徴やそれらの働きが生み出す特質や雰囲気について思考し、どうすればそれらを生かせるか判断して、工夫した表現をしている。 c：ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、アンサンブルに主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※令和４年度以降入学生用

		【歌唱】 ・3部合唱	a: 合唱をするために必要な知識や技能を身につけている。 b: 主旋律、対旋律、和声といった合唱の要素や自分のパートの全体の中での役割について深く思考し、自らの判断で協力し合い、創造的に表現している。 c: 曲想やハーモニーに関心を持ち、合唱に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度